

第22回オンライン読書会（9）（ラインビデオ通話による）

＜参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会＞「おんなどおとこの工夫 生涯を連れ添うために」

2021.1.23 開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
オンライン読書会を開催しています。

★ テキスト・テーマ：

- 週刊文春 WOMAN2021 創刊2周年記念号
 - ・中野信子×中野圭 夫婦対談
 - ・太田光代（太田光・妻）×古舘理沙（神田伯山・妻）対談
- 婦人公論 2020-2021 12/22,1/4 合併特大号
 - ・宮本浩二（エレファントカシマシ）いまだからわかる女心
懐かしいメロディとともに、母の歌声が鮮やかによみがえる



★ 参加者 : 11名 (女性9名 男性2名)

★ 参加者の感想



本日の読書会は11名の参加でした。

テーマは、まず週刊文春WOMANから、中野信子さんのつかず離れずのほぼ別居婚の話、太田光夫妻と神田伯山夫妻の対談の話。次いで、夫（妻）がすばらしく見えた時、私にとってかけがえのない1曲についてでした。

個人的な話になりますが、本日の読書会の日私の結婚19年の記念日でした。少しずつ子育ても落ち着き始めたこともあり、今後はより夫婦という関係が大切になってくる時期かと思えます。この「おんなどおとこの工夫 生涯を連れ添うために」の読書会に参加しているので引き続き夫婦について積極的に考えていきたいと思っています。この会に参加する事で、異性である男性の視点や意見を聞けたり、同性の方の経験談や考えに共感したり本当に学びが多いです。



又、婦人公論の宮本浩二さん（エレファントカシマシ）の記事を題材に先生からお話頂きました。コロナ禍での音楽の力と歌詞から読み解くおんなどおとこの心理にも深いものがありました。「私にとってかけがえのない1曲」というテーマでは、私は独身時代から好きな米倉利典さんの「365 LIFE」の曲をあげました。悩んで動けなくなっていた時にふとこの曲を聴いて自分の原点を思い出しました。看護師である私は、癌の方が多い



病棟で働いていたこともあり、人はいつ亡くなるか分からないからこそ、「動かず後悔するより動いてみよう！！」という考え方が強くありました。そんな自分の考え方をこの曲を聴いて思い出し、行動するきっかけとなりました。又、参加されている方の選ばれたそれぞれの1曲もとても素敵な曲ばかりでした。そしてこの話から参加されている方の過去の音楽活動を知ることにもなり、今まで知らない分野の音楽にも出会えました。夫婦問題はもちろん視野も広がる読書会、参加してみたら何か新しい発見があるかもしれません。 (家族相談士 岩崎真紀)

新しい試みのオンライン読書会はいかがでしょう？



阿佐ヶ谷の洒落たお店でのお茶もは、しばらくおあずけですが、
長谷川理事長のご講義が画面から溢れてくるオンタイムのゼミナールもまた必見！
夫婦生活につまずいている方はもちろん？円満な方やおひといさまのお知恵も拝借しながら、おんなどおとこが添い遂げる工夫を、家族カウンセリングの視点から学び合いましょう。協会員なら、どなたでもこのオンライン読書会にご参加できます。

★次回は第23回 2月 14 日(日)13:00 ZOOM開催です。

毎回 理事長ご提案のテーマで話し合います。

会員の皆さま、奮ってご参加くださいね！

<会員限定>

オンライン読書会 (ZOOM) に参加ご希望の方は➡のQRコードに (森友ラインあて)、お手持ちのスマホでカメラをかざして繋いでください。



「参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会」グループラインに招待させていただきます。

★今後の阿佐ヶ谷のカフェでの読書会は本協会の対応に準じて開催していく予定です。
しばらくはオンラインを使って読書会を継続していきます。
何卒、ご理解、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。